

40周年記念 エアドームで信夫山を作ろう

青、赤、ピンク、黄色、白…カラフルなビニール袋を切って、貼って、みんなで大きなエアドームを作ります。エアドームは福島市のシンボル、信夫山の形にしてみましょう。



エアドームが完成したら、空気を入れて膨らませ、中にミラーボールを仕込むと…どんな世界が広がるかな？
最後にみんなで中に入ってみましょう。

日時：6月2日(日) 10時-14時頃

※お昼休憩を1時間はさみます

講師：塩川 岳氏 (アートコミュニケーター)

対象：子ども(5才～)・親子20名程度 ※小学校低学年
以下は保護者同伴 (ハサミをします)

会場：美術館エントランスホール

材料費：無料

【申し込み締め切り：5月25日(土)(先着順)】

美しきタペストリー ～積み重なるストーリー～

自ら織った布にパターン文様をデザインし型紙を彫り糊置きします。

藍染で染色した文様により受講者それぞれの想いやストーリーを表現します。作品はタペストリーとして仕上がり、鑑賞するための美しい布となるでしょう。



参考作品「藤の音に耳を澄ませて」作：大小田万侑子 (東京藝術大学染織研究室テクニカルインストラクター)

日時：7月13日(土) 10時-16時30分

※お昼休憩をはさみます

7月14日(日) 10時-13時 [2日連続]

講師：橋本圭也氏 (東京藝術大学美術学部工芸科染織研究室 教授)

対象：中学生以上12名程度

会場：美術館実習室

材料費：2,500円

【申し込み締め切り：6月28日(金)(先着順)】

お申込み
お問合せ

県立美術館「創作プログラム」係
TEL 024-531-5511

美術館総合受付、美術館ホームページから
もお申し込みいただけます。

開館スケジュール (○印=休館日)

6月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	③	4	5	6	7	8
9	⑩	11	12	13	14	15
16	⑬	18	19	20	21	22
23	⑭	25	26	27	28	29
30						

7月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	⑧	9	10	11	12	13
14	15	⑬	17	18	19	20
21	22	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
⑳	㉑	㉒	㉓			

利用案内

開館時間 9時30分-17時(最終入館は16時30分)

休館日 月曜日(祝祭日の場合は開館し、翌平日休館)／祝祭日の翌日／年末年始(12月28日～1月4日)／展示替にともなう臨時休館：7月23日(火)-8月2日(金)

観覧料 一般・大学生280円(20名以上の団体は220円)、高校生以下無料※企画展観覧料は展示により異なります。〈企画展〉欄をご覧ください。※企画展料金で常設展もご覧いただけます。※こどもの日、県民の日(8/21)、敬老の日、文化の日は常設展が無料になります。
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は、常設展・企画展ともに無料です。(手帳をご提示ください)付き添いの方1名も無料となります。

交通案内

〈JR福島駅・東口より〉

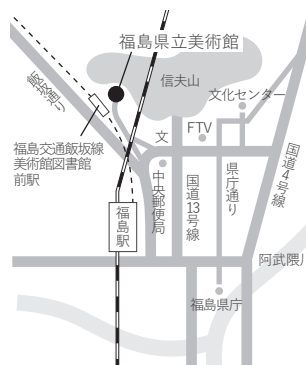
■電車 福島交通飯坂線「美術館
図書館前駅」下車徒歩2分

■バス 9番乗場より福島交通バス／市内循環もりん2
コース「県立美術館入口」
下車徒歩3分

■タクシー 約5分

〈自家用車の場合〉

東北自動車道・福島飯坂ICより市
街地方面へ約15分



福島県立美術館

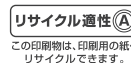
〒960-8003

福島市森合字西養山1番地

TEL 024-531-5511

FAX 024-531-0447

<https://art-museum.fcs.ed.jp>



MUSEUM NEWS

福島県立美術館

FUKUSHIMA PREFECTURAL MUSEUM OF ART

開催中 企画展示

「福島の美術家たち2024」

2024年5月25日(土)-7月22日(月)



渡辺雄彦《海の記憶》2012年

開催中 企画展示

福島県立美術館開館 40 周年記念展 福島の美術家たち 2024

2024 年 5 月 25 日(土) - 7 月 22 日(月)

山紫水明の地である福島県は、豊かな文化的土壌のもとで数多くの美術家を輩出してきました。福島県立美術館では1984年7月22日の開館以来、福島県出身・ゆかりの美術家の回顧と顕彰を重要なミッションのひとつとして位置づけ、折に触れて紹介に努めてきました。特に1987年、1989年、1991年と3回にわたって開催したシリーズ企画〈福島の美術家たち〉では、各ジャンルから計117名にものぼる同時代の作家を取り上げています。

このたび開館40周年記念展として開催する「福島の美術家たち2024」は、同シリーズの趣旨を継承し、1990年代以降現在まで、日本画・洋画・版画・立体・工芸の5つの分野から顕著な活動を続けてきた美術家40名をご紹介しますものです。

県内外で活躍する郷土作家の作品が一堂に会する貴重な機会となるとともに、未来を担う若い世代に向けて新たなエールを贈る展覧会となることを目指します。

〈出品作家〉

日本画：安堵蒼樹、齋藤勝正、鈴木龍郎

洋 画：久家三夫、小堀 貞、齋藤 研、酒井昌之、
鷺 邦明、白井洋子、高澤俊郎、富樫京子、
中島敏明、馬場 泰、広瀬 諭、藤於 環、峰丘、
村上伸栄、渡辺雄彦

版 画：伊藤集三、岩谷 徹、小島安男、下山田晴彦

立 体：安斉重夫、石山信子、遠藤 徳、大竹 京、
若杉儀子

工 芸：〈陶〉一重孔希、伊藤文夫、近藤 学、佐藤 幹、
第十五代田代清治右衛門、渡辺雅旺
〈漆〉折笠光助、須藤靖典、関谷浩二、中里 壽
〈七宝・ガラス〉水落佑子、水落雅子、横山尚人

休館日：毎週月曜日（7月15日、22日は開館）、7月16日(火)
観覧料：一般・大学生 800(600)円／高校生 400(200)円／小
・中学生 200(100)円 ※()内は20名以上の団体料金



齋藤勝正《歴(いわき神白海岸)》
2012年



関谷浩二《すいかずら花文切貝蒔絵水指》
1994年

〈関連イベント〉

記念鼎談

「福島の美術家たち～これまでとこれから」

日時：5月25日(土) 14時 - 15時30分

出演：齋藤勝正氏、酒井昌之氏、早川博明氏(当館元館長)

会場：美術館講堂

※聴講無料

次回開催予定 企画展示

福島県立美術館開館 40 周年記念展 みんなの福島県立美術館 その歩みとこれから

2024 年 8 月 3 日(土) - 9 月 16 日(月・祝)

1984年7月に開館した福島県立美術館は今年40周年を迎えます。当初600点にも満たなかったコレクションは、その後の活動のなかで数を増やしていき、現在は4,000点以上に上ります。

本展では、美術館のこれまでの歩みをコレクションや当時の資料とともに振り返ります。また、美術館の活動や仕事についてもご紹介します。あなたにとって、福島県立美術館はどのようなところでしょうか？美術館のこれからについて一緒に考えてみませんか。



クロード・モネ《ジヴェルニーの草原》1890年 当館蔵

休館日：毎週月曜日（8月12日、9月16日は開館）、8月13日(火)
観覧料：一般・大学生 600(480)円／高校生 300(200)円／小
・中学生 200(100)円 ※()内は20名以上の団体料金

常設展示 福島県立美術館のコレクション

第Ⅰ期コレクション展

2024 年 3 月 23 日(土) - 7 月 22 日(月)

〈主な展示内容〉

■プレイバック! 福島の美術家たち：

企画展「福島の美術家たち2024」開催にあわせて、これまでに当館が収蔵した本県ゆかりの作家たちの作品をご紹介します。

■関根正二と近代の洋画：関根正二《自画像》ほか

■海外作品の名品：モネ《ジヴェルニーの草原》ほか

■掌の版画：昭和初期の版画雑誌



カミュ・ピサロ《エラニーの菜園》
1899年



岸田劉生《静物(白き花瓶と台皿と林檎四個)》1918年

◆常設トーク | 当館学芸員がコレクション展の魅力をご案内します。日時：6月16日(日) 11時～11時40分
※観覧券をご購入のうえ展示室入口にお集まりください。

トークフリーデー 参加のご案内

トークフリーデー

「トークフリーデー」とは、展示室内での声の大きさを気にせず、鑑賞をお楽しみいただける日です。

いつもは展示室内では、静かにお話しいただくことが多いですが、この日は小さなお子さんやご友人と一緒に作品の感想を話しながら、お気軽に鑑賞をお楽しみください。

なお、普段のお客様の会話を制限するものではありません。

〈実施日〉5月5日(日)、9月16日(月・祝)、
11月3日(日) ※いずれも常設展無料の日